

一般国道234号遠浅市街地の 道路交通安全対策事業が予算化されました

町と地域住民の皆様が一体となり早期着工・早期実現を要望してきた一般国道234号遠浅市街地の道路交通安全対策事業が、今年度の北海道開発予算において1億2千万円盛り込まれ、事業化が決定しました。

遠浅市街地を縦貫する一般国道234号は、他の区間に比べて幅員が狭い道路でありながら周辺に企業が集中し、大型車の交通量が多く、過去に多くの痛ましい交通事故の発生や、加えて朝夕の交通渋滞など様々な問題があり、町と周辺自治会が一体となってその対応を北海道開発局に求めてきた経過があります。

今回の事業化を受け、去る4月28日には、遠浅自治会の役員・班長を対象とする開発局苦小牧道路事務所の事業計画説明が行われ、主に次の道路交通安全対策案について説明がありました。

事業は苦小牧側から工事に着手し、数年に分けて段階的に道路改良が行われる計画であり、工事開始段階で説明会が毎年開催される予定です。

町としては、周辺自治会・遠浅市街地住民の皆様とともに、今後も国・北海道開発局など関係機関に対して事業推進、早期完成に向けた予算確保を要望してまいります。

【道路交通安全対策案】

- ①道路敷地を最大限活用した車道幅員拡幅と歩道の改修
- ②市街地に新たに2箇所の右折レーンを追加
- ③道路横断防止柵の設置
- ④LED道路照明の新設
- ⑤バスベイ（バス停留所）の新設に伴う「遠浅駅前バス停留所」の移動など

【改良後のイメージ図】

早来方面：遠浅郵便局前交差点



苦小牧方面：空撮イメージ



このほか、町からは遠浅自治会より町政懇談会などでご要望があった苦小牧市内における民間バス路線の変更について、苦小牧道路事務所のご協力により民間バス会社と調整が進んでいることを経過報告いたしました。

こちらの記事に関するお問い合わせは、企画財政課企画グループまで（☎2751）